

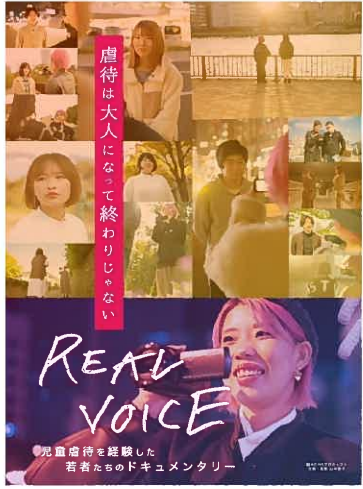
～「まちのひろば」創出職員プロジェクト～

映画「REAL VOICE」上映×パネルディスカッションを開催します！

児童虐待を経験した若者たちのドキュメンタリー映画の上映と、児童福祉分野の専門家によるパネルディスカッションを開催します。

本市では、「これからのコミュニティ施策の基本的考え方」に基づき、地域での居場所やつながりづくりを推進することで、幸福度が高く、誰もが認められる社会的包摂の進んだ持続可能な都市型コミュニティを目指しています。この度の上映会とパネルディスカッションを通して、地域で養育に困っている世帯や社会的な孤立を経験した若者の実態を再認識し、誰も取りこぼさないコミュニティづくりを考える機会を創出いたします。

なお、今回の催しは、自ら課題を見つけ、地域実践を通じて現場を知り、チャレンジする市役所職員を育成する研修「まちのひろば創出職員プロジェクト」から生まれた取組の一つとして実施します。

日時	令和6（2024）年1月30日（火）13：30～16：30（13：00開場）
場所	TOHOシネマズ川崎 スクリーン4（川崎区駅前本町8番地 DICE7F）
定員	130名 ※先着順（12/20申込開始：定員に達し次第、受付終了）【無料】
内容	<p>◆「REAL VOICE」上映（90分程度）</p> <p>児童虐待を経験した若者たちは、大人になっても生きづらさを抱えている。今も苦しみや痛みと向き合いながら生きる若者達のリアルに迫ったドキュメンタリー。監督は、自身も児童養護施設で育ち、現在はボランティア団体の代表として生きる山本昌子さん。北海道から沖縄まで、総勢40名を超える若者たちの“REAL VOICE”。</p>  <p>REAL VOICE 公式 X（旧 Twitter）より</p> <p>◇パネルディスカッション（90分程度）</p> <p>「児童・若者をはじめとした誰もが孤立しないためのコミュニティづくり」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ファシリテーター：白梅学園大学 長谷川名誉教授 ・パネリスト：川崎愛児園 富居施設長代理、川崎ふれあい館 鈴木副館長 里親支援センターさくら 溝部統括責任者、中部児童相談所 職員

■申込方法

右記二次元コード、
もしくはチラシ裏面
のFAX申込フォームにて申込
（12/20申込開始、先着順）



【問合せ先】

（まちのひろばに関すること）
川崎市市民文化局コミュニティ推進部協働・連携推進課 早川
電話：044-200-2017
（児童虐待防止に関すること）
川崎市こども未来局児童家庭支援・虐待対策室 大原
電話：044-200-0084

※当日のパネルディスカッションの様子は後日動画で配信予定です。

「REAL VOICE」上映会

～コミュニティにできることを考えよう～



虐待は大人になって
終わりじゃない

この声は他人事ではない。

児童虐待を経験した若者たちの「REAL VOICE」をキッカケに、虐待の背景にあるもの、児童・若者をはじめとした誰も孤立させないコミュニティづくりに私たち一人ひとりに何ができるのか。

児童福祉の専門家と一緒に考えてみませんか？

2024

2023年12月20日

申込開始

(先着順、130名)

1

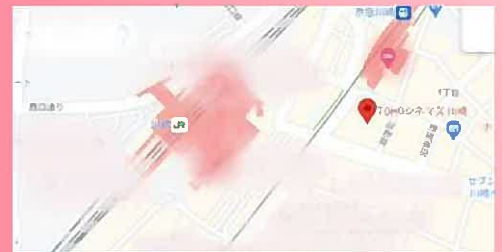
30 (火)

無料

13:30～16:30 (13:00開場)

TOHOシネマズ 川崎

(川崎市川崎区駅前本町8番地 DICE 7F
JR川崎駅から徒歩約5分)



©ACHAプロジェクト
企画・監修 山本博子

プログラム

13:30～15:10

映画上映

15:10～16:30

パネルディスカッション

申込はこちらから、もしくは
FAX (裏面のフォーム) にて

Part1:虐待の背景にあるものとは
～そもそも虐待はなぜ起こるのだろう～

Part2:誰1人取り残さない社会を実現するために何が出来るか
～誰もが「居心地よく」生活するためにはなにが必要だろう～





虐待された経験者の人生や日本各地の社会的養護を経験した子・保護されることはなかった子達の心の叫びを収録した、若者たちの「REAL VOICE」を発信することを目的としたドキュメンタリー映画。
監督自身も児童養護施設出身であり、今回の上映会では山本昌子監督からのスペシャルビデオメッセージもお届けします。

パネリスト紹介

ファシリテーター：長谷川 俊雄 白梅学園大学名誉教授

社会福祉士、精神保健福祉士。横浜市役所社会福祉職、愛知県立大学、白梅学園大学を経て現在に至る。NPO法人つながる会代表理事（横浜）
認定NPO法人フリースペースたまりば理事（川崎）
共編著『引きこもりの理解と援助』（萌文社）他。

パネリスト：

・鈴木 健 ふれあい館副館長

川崎市ふれあい館副館長 父は日本人、母は朝鮮半島出身。10代の頃に在日フィリピン人と出会い、それ以来、在日外国人のコミュニティづくりや支援に携わる。
現在、川崎市ふれあい館でこども食堂や食糧支援、小学生、中学生の学習支援、高校内居場所カフェなど、こども・若者の居場所づくり事業や多文化事業に取り組む。

・溝部 聡子 かわさき里親支援センターさくら統括責任者

社会福祉法人厚生館福祉会が運営している養子縁組里親支援機関（フォスターリング機関）として、川崎市から2020年に受託。

・富居 啓之 川崎愛児園 施設長代理

15年以上、地域社会の中で、様々な理由により家族と一緒に暮らすことができない「将来を担うこどもたち」への質の高い養育及び子育て支援に奮闘。

・中部児童相談所 職員

FAX 申込フォーム

（送付先：川崎市市民文化局協働・連携推進課） FAX：044-200-3800

Q1. 所属を選択してください。

施設 地域団体（町内会・地区社協・等） 行政関係者 学生 その他

Q2. お名前をご記入ください。

【 】

Q3. 在住または在勤の区を選択してください。

川崎区 幸区 中原区 高津区 宮前区 多摩区 麻生区 市外

Q4. 電話・FAX番号をご記入ください。

【TEL： /FAX： 】

まちのひろば創出職員プロジェクトとは？

多様なつながりを育む地域の居場所「まちのひろば」創出のモデル実施を目的とした、職種・組織の枠を超えて地域に飛び出す市職員によるプロジェクト。職員研修の一環として実施しています。

主催：川崎市市民文化局協働・連携推進課
（まちのひろば創出職員プロジェクト）

問合せ先

共催：社会福祉法人川崎市社会福祉協議会
施設部会 児童・母子福祉施設協議会

TEL 044-739-8717